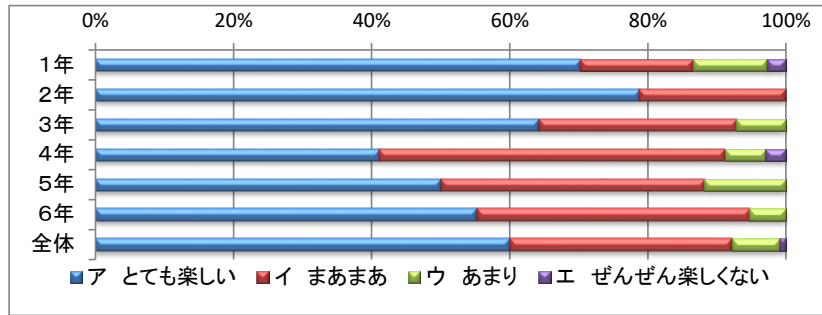


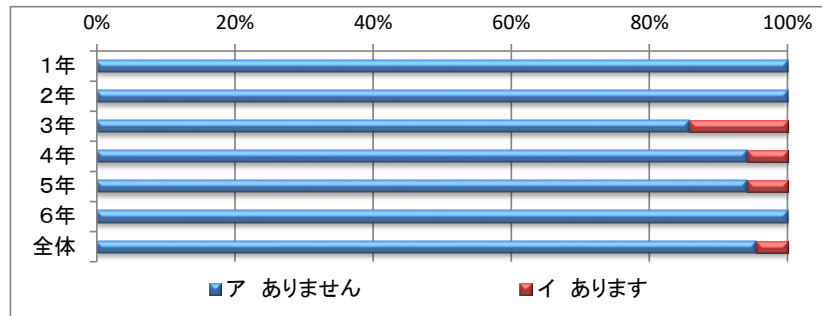
令和4年度 心のアンケート集計【12月】

令和5年1月10日 一武小学校

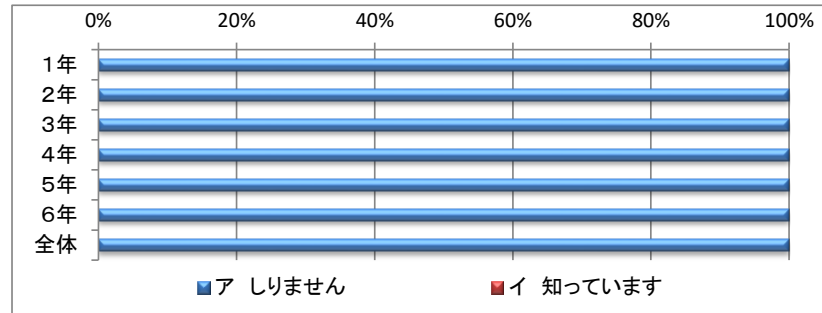
問1	学校は楽しいですか。					合計
	ア	イ	ウ	エ		
1年	26	6	4	1		37
2年	26	7	0	0		33
3年	27	12	3	0		42
4年	14	17	2	1		34
5年	17	13	4	0		34
6年	21	15	2	0		38
全体	131	70	15	2		218



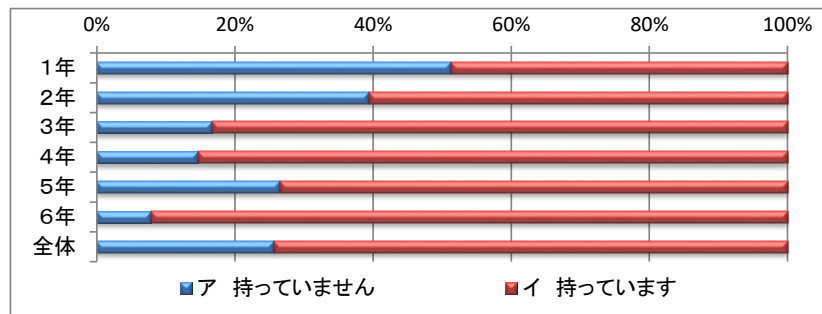
問2	友だちからいやなことをされたり、言われたり、無視されたりしていませんか。					合計
	ア	イ				
1年	37	0				37
2年	33	0				33
3年	36	6				42
4年	32	2				34
5年	32	2				34
6年	38	0				38
全体	208	10				218



問3	友だちが、いやなことをされたり、言われたり、無視されたりしているのを知っていますか。					合計
	ア	イ				
1年	37	0				37
2年	33	0				33
3年	42	0				42
4年	34	0				34
5年	34	0				34
6年	38	0				38
全体	218	0				218



問4	自由に使える情報通信機器(スマートフォンやパソコン、タブレット、ゲーム機など)を持っていますか。					合計
	ア	イ				
1年	19	18				37
2年	13	20				33
3年	7	35				42
4年	5	29				34
5年	9	25				34
6年	3	35				38
全体	56	162				218



- 「学校が楽しいですか。」の問いに対し、「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した児童が17名いる。昨年度と比較すると、肯定的ではない児童の割合が高くなっている。心のアンケート後には、児童一人一人と担任が個人面談を行っており、個人面談の結果等も生かしながら、すべての児童が安心して生活できる学校づくりに努めていきたい。
- 「友だちから嫌なことをされたり、無視されたりしていませんか。」の問いに対して、10名の児童が「あります」と答えている。また、「友だちが嫌なことをされたり、無視されたりしているのを知っていますか。」の問いに対して、0名の児童が「知っています」と答えている。嫌なことをされている児童がいる一方で、そのようなことを知っている児童がいないという結果から、教員や友だちの見えない場面で行われていることも考えられる。教員がよりアンテナを高くし、児童をしっかりと見守っていく必要がある。「友だちからいやなことをされた」ことの内容は、「言葉での冷やかしかからかい」「文句を言われた」がほとんどであり、深刻ないじめにつながるような事案は含まれていなかった。個人面談等の後、担任が中心となり、不安なこと等の解決に向けての積極的な指導や経過観察を継続的に行っている。
- 情報通信機器の所持率が、全校児童の7割を超えており、年々児童の情報通信機器所持率は上昇している。ゲーム・スマホ使用時間が、長時間児童もいる。また、自分が使う情報機器にフィルタリング機能が設定されているか分からないと回答する児童が多い。今後も児童や保護者に向けて、情報モラル教育の啓発を行っていく必要がある。